

2021年度（令和3年度） 自己評価結果公表シート

自令和3年4月1日～至令和4年3月31日

学校法人 敬愛学園
岸部敬愛幼稚園

1. 本園の教育目標

教育の目的は、立派な人格を持った人間を育成することです。そして、人格の基礎は幼児期に形成されます。岸部敬愛幼稚園は幼稚園指導要領と、浄土真宗の生活信条、そして親鸞聖人の精神にもとづき、すなおで明るく、やさしく、元気のよい、ほとけの子どもを育てます。

- ★ほとけさまを拝む、明るくて豊かな心を持った子ども
- ★健康で、心身ともに活動的な子ども
- ★お友だちと仲良くあそび、だれからも愛される子ども
- ★「ありがとう」と、すなおによるこび、たたえる子ども
- ★よく聞く態度と、理解力、創造力をもった子ども

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教師が園児の成長発達を考慮しつつ教育環境を整えた保育計画をたてることで、園児の主体的な関わりを軸とした保育を実施し、園児自身が自ら喜んで園生活を過ごし、様々なことに興味・関心を抱くことができるようにしていく事を重点目標とする

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教育課程の実践にあたり教員個々の共通理解を図る。	日頃より職員会議や学年会議等で意見交換をし、個々の理解が相違しないようにしている。また、建学の精神（園児、保護者、保育者が共に育ち合う）も常に意識する。
幼稚園を取り巻く状況をふまえて、今後の計画を立てる。	保育無償化、保護者ニーズの多様化、新型コロナウイルス感染拡大による社会の変化など幼稚園を取り巻く状況が変化しつつある中、子どもの育ちを軸として教職員間で検討する。
危機・安全管理を図る	大災害が発災した際を想定した防災グッズの整備や引渡し訓練の開始など教職員・園児・保護者の危機意識を少しでも高めるようにしている。
新型コロナウイルス感染対策	吹田市長要請にもとづく2度の登園自粛があったが、解除後は園児の感染拡大し複数クラスで学級閉鎖となった。教職員の感染は散見されたが拡大することはなかった。
教職員の労務管理をする	法令遵守（コンプライアンス）のもと教職員一人ひとりが健康的な勤務ができるように職場環境を整える
保護者とのコミュニケーションを図る	感染防止に配慮しながら保育の様子を見て頂く機会を出るだけ設ける。また保護者一人ひとりから園児の様子を聞くことで保育に活かしている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルスの影響で9月、2月と2度に渡り登園自粛があったり、行事日程変更を余儀なくされたり、計画通りの1年とはならなかったものの、取り組むべき課題について教職員一人ひとりが共有することができた。特に、1～3年目の経験の浅い教員をフォローする先輩教員の指導・相互努力が円滑にすすみ、教員の資質向上については順調だった。それは日常の保育においても同様で、保育に前向きに取り組む教職員の姿が印象的であった。保護者との関係については、コロナ以前の様子にはまだまだ遠いものの、動画配信や行事への参加など出来るだけ保育内容の発信を図り幼稚園との関係性を維持してきた。今後は更なる関係性向上に努めていく必要がある。本園の建学の精神（園児、保護者、保育者が共に育ち合う）を忘れずに、園児・保育者・保護者が互いに成長していく為の努力を重ねていくことが大切だと感じる。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教員の資質向上	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿についての学びを引続き重ねていくこと。その為には、子どもの主体性を育む環境構成について意見を出し合い、毎日の保育ですぐに実践できるだけの引き出しを数多く持てるようにする。
危機・安全管理体制	地震・火災などの災害時を想定した様々な準備（避難訓練、災害備蓄品、マニュアル）の定期的な確認と見直しをする。また、ハザードとリスク行動の存在を常に意識し、危機管理サイクル（目的・目標・手段・検証）を回しながら危機回避をしていく。
学校安全計画の見直し	学校施設及び設備の安全点検について盛り込まれていないため追加を検討する。教職員の研修機会を設ける。
園環境の改善	敷地内の危険箇所を見つけ必要であれば改善する。築18年が経過したことによる経年劣化が疑われる設備については順次入れ替えていく。
新型コロナウイルス対策	園でクラスターを発生させないこと。常時換気を徹底すること。
コロナ禍における保護者とのコミュニケーション	出来るだけ幼稚園の情報を発信し保護者に伝えていく *ホームページ、動画配信サービスの活用 *園だより、クラスだよりでの情報発信 *個人懇談会での意見交換 *行事における参観機会を増やす *コロナ以前の姿を視野に入れて検討する *その他

6・学校関係者の評価

新型コロナウイルスの影響が長期に及んだ影響で行事の大幅変更や中止があったが、子ども達が毎日楽しみに通園している姿を見て嬉しく感じます。今後も感染への懸念は尽きませんが引き続き対策をお願いしたいです。

- ・自己評価結果については、適切に取り組まれているものと評価します。
- ・今後の改善方策についても、幼児期の子どもを預かる幼稚園として適切だと評価します。
- ・重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目については、公教育を担う私立幼稚園の使命として適切だと評価します。
- ・学校運営の改善に向けた取り組みについては、幼児の命を守ることが何よりも重要であることを鑑みて適切であると評価します。

また、担任の先生だけでなく多くの教職員が子どもの顔と名前を覚えて下さっていることは有難いです。子ども達一人ひとりの育ちに応じた細やかな対応もしていただき感謝しています。発達に遅れのある園児にも個別対応で行政機関ともしっかりと連携して親子へのサポートもしていただいていると聞き安心しております。登園時には全園児が親鸞様の前で足を止め合掌礼拝し、出迎えてくれた先生ときちんと目を合わせ元気に挨拶できており「心の教育」が自然と身につけていると感じます。コロナ禍において、仏教の考えを通じて親も子ども気持ちも穏やかにさせてくれる保育は敬愛幼稚園だからこそ出来ると感じております。今後もどうぞ宜しくお願い致します。

7. 財務状況

毎年、公認会計士の監査を受け、適正に運営されていると認められている。